日本産業衛生学会
近畿地方会ニュース

発行所　日本産業衛生学会近畿地方会
〒641-0011 和歌山市三葛 580 番地
和歌山県立医科大学保健看護学部内
専用 FAX 番号：050-3737-1042
発行責任者・森岡郁晴（地方会会長）
http://jsoh-kinki.jp

第 63 回日本産業衛生学会近畿地方会総会および特別講演・シンポジウム

日　時：平成 27 年 6 月 20 日　13：00 ～ 17：00
会　場：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

平成 26 年 6 月 25 日に労働安全衛生法の一部を改正する法律が公布され、新たにストレスチェック制度が新設され、平成 27 年 12 月 1 日から施行されます。本制度は 50 人以上の事業所の全労働者を対象に事業者に義務化されるものです。昨年 12 月 17 日に「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度に関する検討会報告書」が提出され、本年 3 月 24 日には、労働政策審議会安全衛生分科会において、ストレスチェック制度に関する省令案要綱について妥当である旨の答申がなされました。今後の予定としては 4 月下旬を目処に 省令の公布、指針の公示が予定されており、5 月下旬以降からは産業保健総合支援センターにおける医師、保健師等向け研修会の実施も予定されています。

しかし、この法案の内容や実施方法、その目的や実施後に労働者や事業主が得られるメリット等がいまだ必ずしも明確でなく、実施者となることを求められている産業医や産業看護職の間では、不安と戸惑いが拡がっています。特に、守秘義務・個人情報保護と安全配慮義務の問題、高リスク者への対応、面接を申し出なかった者への対応、面接を実施する医師（産業医が求められている）の負荷の増大、精神科医との連携等々多くの課題が山積しています。

今回の特別講演では、廃案になった前法案時の「職場におけるメンタルヘルス対策委員会」当初より関わってこられた産業医科大学の堀江正知教授に、本制度新設に至る経緯と本制度の課題、そして今後の展開についてご講演を頂きます。シンポジウムでは専属産業医の森山和郎先生から、産業保健現場でストレスチェックを実施していく上でのアイデアと問題点を、また弁護士の山田長伸先生からは本制度の実施における多くの課題に対して、法的な側面からご解説いただく予定です。その後、堀江正知先生も交えて総合討論の場を持ち、会場からの質問にもお答えいただく形式で、本法案への理解を深めることができればと考えております。多くの参加者を得て活発な討論がなされることを期待します。

＜プログラム＞

13：00～13：50　**近畿地方会総会**

14：00～17：00　**特別講演・シンポジウム**

テーマ：新設されたストレスチェック制度

（14：00～15：00）　**特別講演**

「職場ストレスチェックの概要と今後の展開について」

演者：産業医科大学産業生態科学研究所長／保健管理学教授　堀江正知先生

座長：みずほフィナンシャルグループ関西統括産業医　廣部一彦先生

（15：00～17：00）　**シンポジウム**

「職場におけるストレスチェックへの対応と課題～法的側面からも考える～」

演者：

1）専属産業医の立場から
パナソニック（株）AIS 社キャパシタ事業部
産業医　　森山和郎先生

2）弁護士の立場から
山田長伸法律事務所所長　山田長伸弁護士

3）総合討論
森山和郎先生
山田長伸弁護士
コメンテーター：堀江正知先生

座長：パナソニック健康管理センター所長
伊藤正人先生
ダイハツ工業オフィスサポートセンター保健師
玉木登志枝先生

＜参加費＞

日本産業衛生学会（産衛学会）員：無料
産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：3,000 円
非産衛学会員：2,000 円
非産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：5,000 円

＜単位申請＞

日本医師会産業医認定単位：3 単位申請中（生涯：更新 1 単位、専門 2 単位）

平成 26 年度近畿地方会収支報告および平成 27 年度予算（案）

1. 収入の部

科　目	26 年度予算額	26 年度決算額	27 年度予算額	摘　要
(1) 会費収入	2,200,000	2,228,000	2,300,000	
地方会活動費	1,900,000	1,754,000	1,900,000	2,000 円× 877 人
特別会員会費収入	300,000	474,000	400,000	総会特別講演等当日参加費
(2) 助成金収入	1,890,000	2,206,000	1,890,000	
日本産業衛生学会助成金収入	1,890,000	2,098,500	1,890,000	1,500 円× 1,399 人
本部選挙交付金	0	107,500	0	
(3) 事業収入	120,000	30,000	90,000	
広告料収入	120,000	30,000	90,000	
(4) その他収入	400,500	400,293	300	
受取利息	500	293	300	
役員選挙積立金より	400,000	400,000	0	
当期収入合計	4,610,500	4,864,293	4,280,300	
前期繰越収支差額	2,373,579	2,373,579	2,031,636	
収 入 合 計	6,984,079	7,237,872	6,311,936	

2. 支出の部

科　目	26 年度予算額	26 年度決算額	27 年度予算額	摘　要
(1) 事業費	3,450,000	2,763,890	3,200,000	
①機関誌費	1,350,000	1,130,004	1,150,000	
印刷費	550,000	542,546	500,000	
広報活動費	150,000	49,550	150,000	
通信運搬費	650,000	537,908	500,000	
②助成金支出	1,300,000	1,100,000	1,250,000	
近畿産衛学会開催助成金支出	500,000	500,000	500,000	
産業医部会助成金支出	150,000	150,000	150,000	
産業看護部会助成金支出	150,000	150,000	150,000	
産業技術部会助成金支出	150,000	150,000	150,000	
研究会補助金	200,000	150,000	150,000	50,000 円× 3 研究会
研修会補助金	150,000	0	150,000	
③例会事業費	800,000	533,886	800,000	
地方会総会開催費	550,000	393,886	550,000	
学術担当費	250,000	140,000	250,000	
(2) 管理費	2,090,000	1,442,346	2,004,000	
①運営費	1,490,000	927,370	690,000	
幹事、代議員会費	180,000	163,272	180,000	
広報渉外費	350,000	350,000	350,000	HP 関連
役員改選費	800,000	290,523	0	
通信運搬費	60,000	59,803	60,000	
運営雑費	100,000	63,772	100,000	幹事会交通費
②事務費	600,000	514,976	450,000	
事務局費合計	500,000	500,000	400,000	委託により減額
備品	0	0	0	
消耗品費	100,000	14,976	50,000	
③委託費			864,000	
事務委託費			864,000	
(3) その他支出	0	0	400,000	
役員改選積立金支出	0	0	400,000	28 年度実施予定の積立金
(4) 事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	
日本産業衛生学会開催準備金	500,000	500,000	0	
産業医・産業看護全国協議会開催準備金	500,000	500,000	0	
(5) 予備費	500,000	0	750,000	初期費用（事務局支局移転）
当期支出合計	7,040,000	5,206,236	6,354,000	
当期収支差額	−2,429,500	−341,943	−2,073,700	
次期繰越収支差額	−55,921	2,031,636	−42,064	
支 出 合 計	6,984,079	7,237,872	6,311,936	

財産目録（1）ノートパソコン　Let's noteSX2 法人モデル　（2）FAX　Panasonic　1 台

26 年度の会計年度は平成 26 年 3 月 1 日から平成 27 年 2 月 28 日まで。

平成 26 年度近畿地方会事業報告（案）

1. 第 62 回近畿地方会総会および基調講演・シンポジウム

日時：平成 26 年 6 月 21 日（土）13：10～17：00
会場：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

Ⅰ．総会（13：10～13：50）

5 月 15 日現在の地方会員数 1,350 人のうち出席 74 名、委任状 459 名で、会員の 5 分の 1 以上の出席により総会は成立（地方会会則第 18 条）。平成 25 年度の事業報告・収支決算報告と監査報告および平成 26 年度の事業計画案・収支予算案を承認。

Ⅱ．学術講演会

1）特別講演（14：00～15：00）
「職域における健康づくりの潮流－国家戦略の動向から－」
座長：島　正之（兵庫医大公衆衛生学教授）
講師：古井祐司（東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター助教／ヘルスケア・コミッティー（株）代表取締役）

2）シンポジウム（15：00～17：00）
「ビッグデータ時代の産業保健－健康経営を意識した取り組み－」
座長：鈴木純子（日本アイ・ビー・エム（株）人事）・伊藤正人（パナソニック健康保険組合健康管理センター所長）
演者：①井手　宏（三井化学株式会社大阪工場健康管理室産業医）、②荒木郁乃（EMG マーケティング合同会社医務産業衛生部保健師）、③鍛冶舎穣（パナソニック健康保険組合健康管理センター健康管理支援部チームリーダー）

2. 第 54 回近畿産業衛生学会

（参加者 192 名・うち学会員 135 名）
日時：平成 26 年 11 月 15 日（土）9：45～17：00
会場：近畿大学東大阪キャンパス 20 号館、21 号館
学会長：伊木雅之（近畿大学医学部公衆衛生学教授）

1）一般講演 33 題

2）特別講演「職場から少子化対策を考える」
座長：伊木雅之（近畿大学医学部公衆衛生学）
演者：山縣然太朗（山梨大学大学院医学工学総合研究科社会医学教授）

3）シンポジウム「産業保健から見た就労支援とワークライフバランス」
座長：長井聡里（すてっぷ産業医事務所）、益江淑子（北大阪地域産業保健センター）
シンポジスト：
山内千鶴（日本生命輝き推進室）、渡井いずみ（名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻）、橋口克頼（パナソニック健康保険組合健康管理センター）

3. 代議員会

第 1 回：平成 26 年 6 月 21 日（土）
大阪市立大学医学部学舎
第 2 回：平成 26 年 11 月 15 日（土）
近畿大学東大阪キャンパス 20 号館 2 階

4. 幹事会

第 1 回：平成 26 年 6 月 21 日（土）
大阪市立大学医学部学舎
第 2 回：平成 26 年 8 月 26 日（火）
大阪市立大学附属病院 18 階会議室 5
第 3 回：平成 26 年 11 月 15 日（土）
近畿大学東大阪キャンパス 21 号館 2 階
第 4 回：平成 27 年 2 月 16 日（月）
大阪市立大学附属病院 2 階会議室

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年 4 回（98 号～101 号）発行した。第 100 号は記念特大号（記念鼎談・地方会ニュースの思い出）として 4 頁増の 16 頁構成として発刊。全地方会員と関係者に郵送した。近畿地方会のホームページを随時更新した。

6. 近畿産業医部会

（1）第 19 回近畿産業医部会研修会（参加者 181 名・うち学会員 35 名）
日時：平成 26 年 9 月 20 日（土）14：00～17：00
会場：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室
実行委員長：古西満（奈良県立医科大学健康管理センター）
テーマ：海外勤務者の安全と健康を考える
1）基調講演「海外勤務者の健康管理 ABC」
座長：久保田昌詞（大阪労災病院治療就労両立支援センター）
講師：西山利正（関西医科大学公衆衛生学教授）
2）シンポジウム「海外勤務者の安全と健康をまもるために」
座長：中西一郎（東レ滋賀事業場健康管理センター）、古西　満（奈良県立医科大学健康管理センター）
演者：辰巳嘉英（パナソニック健康保険組合健康管理センター海外医療対策室）、大西裕美（P&G ジャパンヒューマンリソーシズ・アジアヘルスシステム）、安藤裕一（インターナショナル SOS ジャパンメディカルデパートメント）

（2）ケースカンファレンス研修会
産業医職場診断を計 4 回（平成 26 年 9 月 13 日・10 月 9 日・11 月 8 日・12 月 13 日）、職場巡視を計 4 回（平成 26 年 8 月 9 日・平成 27 年 1 月 24 日・1 月 31 日・2 月 7 日）にそれぞれ開催し、各々延べ 19 名、95 名の参加があった。

7. 近畿産業看護部会

Ⅰ．定例研修会

1）第 1 回定例研修会
日時：平成 26 年 7 月 26 日（土）13：30～16：30
会場：エル・おおさか南館 5F
テーマ：働くがん患者への支援－最新のがん治療と産業看護職の役割－
講師：井岡亜希子（大阪府立成人病センター・がん予防情報センター企画調査課参事）、濱本満紀（大阪がんええナビ理事長、がんとともに生きる会副理事長）
参加人員：88 名（学会員 70 名・非学会員 18 名）

2）第 2 回定例研修会
日時：平成 26 年 12 月 20 日（土）13：30～16：30
会場：エル・おおさか南館 5F 南ホール

テーマ：第一部「データヘルス計画について」岡田邦夫（大阪プール学院大学教育学部教育学科教授スポーツ科学センター長）
第二部「懇談会：産業看護専門職に関する新たな制度について」
五十嵐千代（日本産業衛生学会産業看護部会部会長）
参加人員：106名（学会員83名・非学会員23名）

Ⅲ．産業看護講座「短縮Nコース」
平成26年3月14日(金)、15日(土)、21日(金)、22日（土）の4日間、エル・おおさかにて開催。55名（看護師42名保健師13名）が全課程修了。

Ⅳ．幹事会
4回開催（平成26年4月19日、7月26日、10月25日、12月20日）

8. 近畿産業衛生技術部会総会及び講演会（参加者20名）
日時：平成26年12月14日（日）13：00～17：00
会場：ユーズ・ツウ（大阪市内の貸会議室）
テーマ：中国の職業病症例と日本の職業病症例の報告会とその予防としての保護具」
講演会：1）久保田昌詞（大阪労災病院）「鉛中毒の一自験例」、2）孫道遠（上海市肺科医院・上海市職業病医院）「急性トリメチルスズ中毒について」,3）中野真規子（慶応大学）「自験例も含めたインジウム肺の症例」、4）趙立強（四川大学・華西第四医院）「四川大学華西第四医院業務紹介」、5）篠宮真樹（興研株式会社）「曝露予防対策としての保護具について」

9. 研究会活動
(1) 産業精神衛生研究会
1）第1回
日時：平成26年5月29日（木）18：30～21：00
場所：薬業年金会館3階301号室
「大人のアスペルガー症候群の対応－その3」
座長：廣部一彦（みずほフィナンシャルグループ開発センター）
演者：夏目　誠（「事例から知る「働く人のアスペルガー症候群」、正岡　哲「大人のアスペルガー症候群への対応」、トークセッション（夏目　誠vs正岡　哲）
2）第2回
平成26年9月5日（金）18：00～21：00
エル・おおさか本館709号室（参加者98名）
テーマ：事例から知る「現代型」うつ病への対応
＜基調講演＞夏目　誠（大阪樟蔭女子大学大学院教授）

(2) 職業性筋骨格系障害研究会
日時：平成26年11月16日（日）9：00～17：00、17日（月）9：00～15：00
会場：滋賀医大看護第一講義室、他
「第4回作業関連性筋骨格系障害日韓共同シンポジウム」の共催組織（企画運営委員長・垉田和史の他、事務局・座長・発表者として本会会員が運営に関わる）。
第1部：シンポジウム（16日）
参加者52名（うち、韓国10名、通訳者2名）。セッション1「農民の筋骨格系障害」では韓国3演題、日本2演題、セッション2「筋骨格系障害に関する一般演題」では韓国2演題、日本3演題の発表。セッション3「日韓のトピックス」では、韓国（イ・キョンスク氏）が「2012年農民筋骨格系疾患現況及び予防のあり方」、日本（垉田和史）が「職場における腰痛予防対策指針」について報告し、質疑が行われた。
第2部：施設見学会（17日）
韓国8名と通訳者2名を含む25名。草津市内の農家と重度心身障害児者施設を見学して意見交換。

(3) じん肺研究会：開催せず
(4) 労働衛生法制度研究会：休会中
(5) 近畿臨床産業医学フォーラム
第16回
日時：平成26年9月3日18：00～20：00
（参加者約100名）
会場：ホテルグランビア京都
テーマ：職場におけるCOPDの予防と喫煙対策
基調講演：岩﨑吉伸（京都府立医科大学医学研究科呼吸器内科）「COPDの現状と治療」、パネルディスカッション「職場におけるCOPDの予防と喫煙対策」：安田雄司（医療法人啓生会やすだ医院）「COPDの予防と禁煙」、宮里雅志（京都工場保健会）「職場における禁煙サポート」
第17回
日時：平成27年2月4日（水）18：00～20：00
（参加者約120名）
会場：ANAクラウンプラザホテル大阪3階
テーマ：職域における糖尿病の管理
基調講演：日高秀樹（三洋電機連合健康保険組合健康管理センター）「職域におけるメタボリックシンドロームの管理－対費用効果の観点から－」、パネルディスカッション「職域における糖尿病対策の実際」：久保田昌詞（大阪労災病院）「就業と治療の両立支援」、今野英一（阪神電気鉄道（株）野田診療所）「食事・運動療法の指導の実績」、鈴木美恵子（栗田工業（株）大阪支社医務室）「産業保健スタッフからの支援の事例」

10. 協賛事業
第18回海外勤務者健康管理研修会（共催：(社)大阪府医師会、大阪産業保健総合支援センター）（参加者117名）
日時：平成26年10月25日
会場：コンファレンスプラザ大阪御堂筋
テーマ：海外における感染症（エボラ等）、海外派遣企業での新型インフルエンザ対策ガイドラインについて

11. 第4回近畿産業衛生学会優秀演題賞の表彰
西田典充氏（京都工場保健会）ほか「騒音職場の労働者の聴力に及ぼす各種因子の検討」、東久博氏（パナソニック健康保険組産業科学センター）ほか「尿中マンデル酸のGC-MSによる高感度分析について」

（本文中敬称略・肩書等は原本掲載時通り）

平成27年度近畿地方会事業計画（案）

1. 第63回近畿地方会総会および学術講演会

日時：平成27年6月20日（土）13：00～17：00
会場：大阪市立大学医学部学舎
Ⅰ．地方会総会
Ⅱ．学術講演会

2. 第55回近畿産業衛生学会

日時：平成27年11月14日（土）
場所：兵庫県医師会館
学会長：丸山総一郎（神戸親和女子大学教授）
Ⅰ．一般講演
Ⅱ．特別講演
Ⅲ．シンポジウム

3. 代議員会

第1回：平成27年6月20日（土）
大阪市立大学医学部学舎
第2回：平成27年11月14日（土）
兵庫県医師会館

4. 幹事会

第1回：平成27年6月20日（土）
大阪市立大学医学部学舎
第2回：平成27年8月
大阪市立大学医学部学舎
第3回：平成27年11月14日（土）
兵庫県医師会館
第4回：平成28年2月
大阪市立大学医学部学舎

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年4回（102号から105号）発行予定。地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供する。

6. 近畿産業医部会

第20回近畿産業医部会研修会
日時：平成27年9月5日（土）14：00～17：00
会場：大阪市立大学医学部学舎4階大講義室
実行委員長：岩根幹能（新日鐵住金株式会社　和歌山製鐵所　安全環境防災部　安全健康室　一般財団法人NSメディカル・ヘルスケアサービス）
主題：まもなく施行されるストレスチェックについて

7. 近畿産業看護部会

（1）定例研修会
第1回
日時：平成27年7月18日（土）15：40～18：15
会場：エル・おおさか本館5F　視聴覚室
主題：「メンタルヘルス不調者に対する復職支援～再発を繰り返す社員への対応の中で看護職の果たす役割とは～」
講師：鍵本伸明（ナンバかぎもとメンタルクリニック院長）
第2回
日時：平成28年1月30日（土）13：30～16：30
会場：薬業年金会館
主題：「産業看護職とソーシャル・キャピタル」
講師：長尾和宏（長尾クリニック院長）
（2）調査研究の取り組み
産業看護職のキャリア形成の実態を開始－インタビューによるプレ調査－
（3）幹事会：年4回（4月・7月・10月・12月）予定

8. 近畿産業衛生技術部会

平成27年2月に総会・講演会を開催予定

9. 研究会活動

（1）産業精神衛生研究会
2回を予定
（2）職業性筋骨格系障害研究会
第1回
日時：平成27年5月15日（金）
15：30～17：00
会場：グランフロント大阪・カンファレンスルームC（第88回日本産業衛生学会における自由集会、大阪開催につき共催）
講演「慢性運動器痛の治療に関する最近の知見」
講師：福井　聖（滋賀医科大学附属病院ペインクリニック科　科長、病院教授）
第2回
京都市内にて開催予定（日時未定）
（3）じん肺研究会：1回開催予定
（4）労働衛生法制度研究会：休会中
（5）近畿臨床産業医学フォーラム
2回を予定

10. 協賛事業

海外勤務者健康管理研修会（共催：（社）大阪府医師会、大阪産業保健総合支援センター）平成28年2月に開催予定

11. 第5回近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

（本文中敬称略）

第 63 回近畿地方会総会および学術講演会（6/20）

特別講演・シンポジウム申し込み要領

日本医師会認定産業医制度産業医学研修の生涯研修（3 単位）を申請中です。
医師の方で単位取得希望者は下記要領にてお申し込みください。

【申し込み方法】 ホームページまたは FAX（様式自由）
①6 月 20 日（土） 特別講演・シンポ参加希望、②氏名（ふりがな）、③連絡先住所・電話・FAX ④所属医師会名 ⑤日本医師会認定産業医番号 ⑥日本産業衛生学会員番号
①から⑥を明記の上、日本産業衛生学会近畿地方会事務局あてに、
FAX（050-3737-1042）でお申し込みください。

【受け付け開始】
5 月 22 日（水）から開始し、定員（100 名）になり次第締め切ります。

【諾否の連絡】
受講票送付にて回答とし、お断り（定員超過）の場合は FAX でご連絡します。

地方会総会会場

■代議員の皆さまへ
総会の前に代議員会を開催いたします。
代議員の方はご出席下さい。
時　間：12：10～12：50
場　所：大阪市立大学医学部学舎 4 階　小講義室 2
◎本ニュースに同封の「総会および代議員会出欠確認」用のハガキを 6 月 2 日（火）必着でご返送下さい。
昼食の準備はしておりませんので、予め済ませてご来場下さい。

■幹事の皆様へ
10：50～12：00 に幹事会を開催いたしますのでご予定おきください。

日本産業衛生学会近畿地方会 2014 年度第 4 回幹事会

日　時：2015 年 2 月 16 日　18：30～20：30
会　場：大阪市立大学附属病院　2 階会議室
出　席：車谷・清田・森岡・井上・圓藤・久保田・鈴木・廣部・伊藤・大脇・河合・木村・清原・鮫島・竹下・富永・豊川・中村・林・萩原・藤岡・丸山・宮下・村田・森口
欠　席：中西・伊木・岡田・北原・坂本・島・埒田・竹村・夏目・宮上・山田
（順不同・敬称略）

1. 審議

A）平成 26 年度事業報告（案）→3～4 ページ参照
資料に基づき車谷前地方会長から報告があり、承認された。

B）平成 26 年度決算報告（案）→2 ページ参照
資料に基づき車谷前地方会長から決算書（案）の報告があり、承認された。

1）近畿地方会の新体制について
（1）理事候補者選挙結果報告
豊川選挙管理委員長から説明があり、承認された。
（2）地方会の新副会長の指名、新幹事と役割分担
森岡地方会長が指名した副会長を了承した。理事 5 名、代表幹事 5 名、幹事 16 名、監事 2 名、合計 28 名の新幹事と役割分担の説明があり、承認された。
（3）新事務局体制について
平成 27 年度より学会事務局を中西印刷と椿屋に業務委託する説明報告があり、承認された。

2）平成 27 年度事業計画（案）→5 ページ参照
資料に基づき森岡地方会長から報告があり、承認された。

3）平成 27 年度予算（案）→2 ページ参照
資料に基づき森岡地方会長から報告があり、承認された。正式承認は 6 月総会時であるが、それまでの間の暫定予算として運用することも了解された。

4）近畿産業医部会長の選任について
産業医部会幹事会で産業医部会長に中西副会長が選任された旨の報告があり、了承された。

5）その他
・圓藤理事から全国協議会の会場の予約状況について説明があった。森岡地方会長を中心に企画運営委員会を立ち上げることが了解された。
・選挙管理委員を選任し、選挙管理委員会を早期に立ち上げることが了承された。
・サーバー変更に伴い独自ドメインの URL 投票が行われ「jsoh-kinki.jp」が選ばれた。

2. 報告

1）第 55 回近畿産業衛生学会（11 月 14 日）の進捗状況について
丸山会長から説明があり、意見交換がなされた。

2）近畿地方会総会（6 月 20 日）の特別プログラム案について
井上、廣部学術担当理事より報告があった。

3）第 88 回日本産業衛生学会の準備状況について
車谷企画運営委員長から報告があった。

4）地方会ニュース発行状況と HP 更新状況について
鈴木担当理事から、HP のアクセス件数・更新回数についての報告があった。

5）本部理事会（2015 年 1 月 8 日）の報告
圓藤本部理事長から説明があった。

6）その他
次回の幹事会は、6 月 20 日（土）10 時頃から、大阪市立大学医学部学舎で開催予定。

第 17 回近畿臨床産業医学フォーラム開催の報告

平成 27 年 2 月 4 日、1 年を通じて最も寒い時期ではあるが、日中は穏やかな日射しもあり、まさに立春の 1 日であった。そのような日の夕刻から、北新地の 1 画 ANA クラウンプラザホテル大阪（全日空ホテル）3 階万葉の間で約 80 名の出席者を得て「職域における糖尿病の管理」をテーマにフォーラムを開催した。

基調講演として、三洋電機連合健康保険組合　健康管理センター所長　日高秀樹先生より「職域におけるメタボリックシンドロームの管理―対費用効果の観点から―」を伺った。事業所従業員が医療機関を受診した際に発行されるレセプト情報（医療費）と定期健康診断結果から得られる検査値を総合的に分析した結果に基づく提言は、事業所の産業医ならではの業績でもあり、大変説得力があった。

次いで、パネルディスカッションは「職域における糖尿病対策の実績」と題して、各論的テーマに取り組んだ。

第 1 席は大阪労災病院　治療就労両立支援センター部長　久保田昌詞先生から「就業と治療の両立支援」を拝聴した。同院では平成 26 年 9 月より治療と就労の両立を目指すモデル事業を展開しているが、その経験を生かし、病態と就労体制の関連性を示唆に富んだ話題で共感を得た。

第 2 席は阪神電気鉄道㈱　野田診療所所長　今野英一先生より、前任の甲子園大学栄養学部教授時代よりのライフワークでもある「食事・運動療法の指導の実績」の解説があった。従業員の業務内容、就労様態を勘案した個別対応が求められる現状において、事例性を重視していく姿勢が示された。

第 3 席は「産業保健スタッフからの支援の事例」として、栗田工業㈱　大阪支社医務室　鈴木美恵子先生から日頃の取り組みの紹介があった。極めて精力的で且つ、丁寧な指導手順を紹介して戴いた。ここでも個人要因にまで踏み込んだ対応の実践を積み上げている様子が示され感銘を受けた。

最後に本日の講師 4 名の方々間での、あるいは会場からの質疑もあり、予定の時間を超す程の熱い充実した刻を得た。講師の方々の益々の発展を祈り、会場の皆様の御清聴に感謝して約 2 時間 45 分に渡るフォーラムの幕を閉じた。

（当番世話人　公益財団法人
大阪労働衛生センター第一病院　岡田　章　記）

シリーズ
自己紹介

私たちの職場（35）

株式会社ジェイテクト国分工場

産業医　深井恭佑（2014年4月より赴任）

株式会社ジェイテクト国分工場

ジェイテクトは2006年1月1日に光洋精工と豊田工機が合併して誕生しました。従業員数は連結で43,456名、単独で11,015名（平成26年3月31日現在）となっています。主力製品は自動車のステアリング、駆動系部品、軸受（ベアリング）、工作機械、メカトロニクス製品などを生産しています。私の勤務する国分工場は大阪府柏原市にあり、従業員数が約2,200名で主に軸受を生産しております。最寄り駅は近鉄河内国分駅、JR高井田駅で大阪市内からも非常にアクセスしやすい場所にあります。

産業保健体制

現在全国各拠点（一部除く）に診療所を設けており、血液検査や心電図検査などの一般的な検査や内服薬の処方などが出来るようになっています。また、電子カルテで社員の診療情報を管理することができ、出張者の対応も容易にできます。

国分工場では産業医は非常勤内科医、心療内科医、私を含め3名、臨床心理士1名（週1回）、常駐看護スタッフ2名で診療を行っています。看護スタッフの2名は旧光洋精工時代から、常駐しており、従業員からの信頼も厚く、業務も迅速で私の業務を非常に助けてくれています。また、非常勤医師や臨床心理士と情報をしっかり共有するため、メールや引き継ぎノートなどを用いて、情報の漏れがないように工夫をしています。

業務の状況

診療業務：主に生活習慣病のフォロー、急性疾患、外傷の対応などを行っています。また、治療困難な場合や重症例などは近隣の病院と連携をとり、迅速に対応できるようにしています。

産業保健業務：メンタルヘルス・身体疾患社員のフォロー、安全衛生委員会出席、職場巡視、長時間労働者面談、健康診断の実施・事後措置などを行っています。

定例会議：私が赴任する2014年までは診療所と会社とのコミュニケーションや情報の共有がほとんどない状況でした。そんな状態では産業保健業務を会社と一緒になって推進することは困難と考え、人事部門や総務部門に掛け合って、定例会議を月1回開催することとしました。それにより現在の産業保健、診療所の情報、会社からの情報を関係者で共有することで、産業保健業務をスムーズにすることはもちろんのこと、新たな問題点の発見なども行えるようになってきました。そして、何よりも会社と産業保健スタッフが一体となって問題を解決していこうという意識が芽生えてきたことが、私としては一番の成果と考えております。

全社的な活動：ジェイテクトではストレスチェック、職場環境診断、禁煙キャンペーンなど健康管理における活動を多岐にわたり、行っております。そのことにより、従業員が健康的に働き、会社が発展できるようにサポートしております。

今後の課題と展望

前述で診療業務や産業保健業務の記載を行いましたが、あまり精度のいいものではないのが現実です。例えば、定期健康診断の事後措置についても対象者全員に適切な就業制限をつけてはおらず、脳血管疾患発症や転倒転落のリスクのまま就業している社員も多くいます。まずは優先順位をつけて、一つ一つ改善していくことが必要と考えております。また、診療所での検査・処方については会社が全額負担しており、従業員には実質無料で処方されます。そのせいか、従業員の予防に対する意識や内服アドヒアランスが非常に低いのが現状です。これについても診療体制の在り方をもう一度考え直す必要があると考えております。まずは目の前の業務を根気強く、着実に行っていくことが、会社全体での疾病の予防に対する意識を高めると信じております。

私も国分工場の業務はもちろんですが、今後は本社機能により近い立場で産業保健に関わる制度の見直しや情報共有の方法の改善などを行い、スムーズかつ有益な産業保健活動になるようにしていこうと考えております。

このようにまだまだ課題は山積みではありますが、産業保健スタッフ、会社関係者と一緒になって、課題を解決し、産業保健業務を精度の高いものにするように今後も努力していきたいと考えております。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

会員の声

作業条件の簡易な調査　と作業条件の調査　について

パナソニック健保組合
産業衛生科学センター
坂本　史彦

このたび日本産業衛生学会近畿地方会幹事を拝命いたしました坂本史彦（さかもと　ふみひこ）と申します。小職にはもったいないお仕事を頂き、本当にありがたく思います。がんばりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます

職業病の初期にはその徴候が理学所見には現れにくいため、特殊健康診断において“異常なし”とされることも多いのが現状です。しかし、生物学的モニタリングや各種検査、そして“作業条件の簡易な調査”を適切に用いることにより早期に職業病を見つけることが出来る場合もあることは否定出来ません。

「作業条件の簡易な調査」は平成21年3月25日　基安労発第0325001号（http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei20/dl/23.pdf）により発せられました。その調査する項目は、・作業工程の変更・取扱量・使用頻度・局所排気装置の作業時の使用状況・保護具の使用状況・事故や修理等で、当該化学物質に大量にばく露したかどうか？　等です。

全ての特殊健康診断で必ず行なわなくてはならない項目ではありませんが、今後ほとんどの特殊健康診断（シアン化カリウム、シアン化水素、シアン化ナトリウム等については、二次健診を行わないため、一次健診において作業条件の簡易の調査ではなく、作業条件の調査を実施する。）で必要となる方向で検討されています。

また、その“作業条件の簡易な調査”において異常を疑った場合は医師の判断により二次健康診断である“作業条件の調査”を行なうことも有効です。ただ、“作業条件の簡易な調査”とは違い、“個人ばく露測定”、“多回数の生物学的モニタリング”、“スポット測定”など医師が必要と思われる検査計画を行なわなくてはならないため、現実に特殊健康診断の二次健康診断として行なわれることは少ないと思います。しかし、看護職スタッフや作業環境測定士、衛生管理者等と協力しチームをつくり作業者の健康を守るために“作業条件の調査”を行なうことも時には必要なことと考えます。組織力もチーム力も必要な二次健康診断ですが、必要なときには是非、躊躇せずにチャレンジして行きましょう！

＊…＊

タイ　マヒドール大学大学院生を迎えて

P＆Gジャパン㈱ヒューマンリソーシズ・アジアヘルスシステムズマネージャー
大西　裕美

平成27年1月27日（火）タイ　マヒドール大学公衆衛生学専攻の産業看護専門職の大学院生12名が研修のため、六甲アイランド（神戸市）にあるP&Gジャパン本社を訪れた。来日の目的は「日本企業での産業保健活動を学ぶ」ということで近畿産業看護部会から依頼を受けた。2日間の日程で、弊社訪問を含め神戸製鋼高砂製作所、アシックスの視察、神戸市看護大学での講義が予定されていた。弊社は本社であるため、見学というよりもセミナー形式で、日本の産業保健業務の概要、外資系企業と日本企業の比較などをお話させて頂いた。

参加者のほとんどは、すでに産業保健に長年携わってきた経験者だったため、自国での活動やシステムなども披露しながら、活発な質疑応答が行なわれた。特に、EAPについてはタイでも需要が高まっているようで、日本のEAPの現状にも興味を示された。

また、ヘルスセミナーやウェルネス関連の活動についても、国は違っても同じ産業保健を実践する者として共通項が多く、お互いに共感する部分も多かった。タイの国民性であろうか、彼女たちは常に笑顔で明るくそして親切であった。当日は寒い日であったが、皆の前向きなエネルギーで、室内は汗ばむほどの熱気で数時間があっという間に過ぎた。

このような貴重な経験をする機会を得たことに感謝するとともに、微力ながら国際親善にも貢献できたのではないかと思う。

会員の声

琵琶湖を望む研究室

滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門
准教授　垰田和史

滋賀医科大学は、琵琶湖の南岸の丘陵地帯に位置しており、研究棟の6階にある研究室の窓からは、琵琶湖とともに対岸の比良山系や比叡の山並みを見ることができます。冬は、琵琶湖上を渡る日本海の寒風が大学に吹き付け、通勤・通学の車両は時に降る雪に備えて冬タイヤを装備する厳しい季節となりますが、澄んだ空気の中で見る碧い湖面と雪を頂いた比良山の美しさは格別です。

我々の研究室は1977年に渡部眞也教授の下に予防医学講座として開設され、2代目の西山勝夫教授を経て、2008年からは学内の組織変更により現在の研究室名となり、垰田が准教授として講師、助教、院生・研究生など10人の体制で、労働衛生、人間工学、農村保健領域の研究や教育、現場実践に取り組んでいます。

主な研究テーマは、1）ヒューマンサービス労働者の作業関連性運動器障害の予防に関する研究、2）障害者の二次障害予防に関する研究、3）全身振動の曝露評価と低減策に関する研究、4）農民の安全衛生向上に関する研究です。

作業関連性運動器障害については、我が国の手話通訳者の頸肩腕障害予防のためのガイドラインを提示し、1990年以来5年ごとの「健康と労働に関する悉皆調査」によりその予防効果を検証しているところです。また、重度心身障害児者施設や高齢者介護施設や病院での介護・看護職員の腰痛については、表面筋電図を用いた作業負担評価や介入研究を展開しています、これらの研究成果は、「職場における腰痛予防対策指針」の改訂にも反映されています。

滋賀県はびわこ学園に代表されるように、障害者福祉の先進県でもあります。PCの発達や普及により、障害者が職場や作業所で就労する機会が拡大していますが、障害者の安全衛生管理についての知見は少なく、労働負担に起因する二次障害が深刻な問題となっています。現在、個々の障害特性や作業態様に基づく安全衛生管理をすすめるために、県下の福祉作業所などと連携し、事例検討の集積を行っています。

地域や職場の課題に応えた研究や実践を展開することが、研究室開設以来の伝統です。製造業、農業、福祉を特色とする滋賀県の労働衛生研究室として、多様な地域の課題に挑戦して行きたいと思っています。

今年度の産業衛生学会近畿地方会産業精神衛生研究会開催について

幹事　夏目　誠

第一回

日　時：6月24日水曜日　午後6時半から9時まで
場　所：薬業年金会館
テーマ：「増加し続ける若者のメンタルヘルス不調への対応－現代型うつ病や発達障がい、パーソナリティ障がいを中心に―」

第二回産業精神衛生研究会

日　時：10月13日火曜日　午後6時半から9時まで
テーマ：「歌で共感し体得するメンタルヘルス、あぁ実感！！」（予定）

以上2回の開催予定です。よろしくお願いいたします。

第20回近畿産業医部会研修会のお知らせ

いよいよ本年12月1日に施行されるストレスチェックについての知識を深めるため、ストレスチェック制度導入に深く関わってこられた2人の先生にお願いして本研修会を企画しました。まずは東京大学の川上教授に、ストレスチェックを円滑に導入し、効果的に活用するためにはどうすればよいかといった内容の講演をしていただきます。続いて近畿大学の三柴教授のコーディネートにより、ストレスチェックを導入することで生じ得るトラブルを想定した事例について、労働者側・使用者側のそれぞれの立場に立つ弁護士にディベートをしてもらいます。法的側面からストレスチェックの特質を学ぶことを通じてリスクマネジメントの一助となればと考えています。

1. **日時**：平成27年9月5日（土）14：00～17：00
2. **場所**：大阪市立大学医学部学舎4階大講堂
3. **対象**：産業医、産業看護職、人事・労務・産業保健実務担当者
4. **内容**：

メインテーマ「まもなく施行されるストレスチェックについて」

(1) 基調講演　14：00～15：10

「ストレスチェック制度の導入にあたって産業保健専門職が考えるべきこと」

座長：廣部 一彦（みずほフィナンシャルグループ 関西統括産業医）

講師：川上 憲人（東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 教授）

(2) 労使各側弁護士によるディベート・セッション　15：10～17：00

「労働問題に精通した弁護士が繰り広げる模擬法廷～ストレスチェックに関連する想定事例を素材として～」

座長：岩根 幹能（新日鐵住金 中部・関西エリア統括産業医）

解説：三柴 丈典（近畿大学法学部 教授）

労働者側弁護士：佐久間 大輔（つまこい法律事務所 代表）

使用者側弁護士：野口 大（野口＆パートナーズ法律事務所 代表パートナー）

労働者の心療内科主治医：花谷 隆志（花谷心療内科クリニック 院長）

使用者の会社産業医：岩根 幹能

産業看護部会お知らせ

1. 産業看護専門職新制度について

本年度はいよいよ新しい産業看護専門職制度スタートの年となります。現段階で公表されている新制度の情報は、本部部会誌フォーラム（第46号）及び、ホームページの「よくあるご質問（新教育制度について）」「部会員専用サイト」（URL：http://www.sangyo-kango.org/faq.html）をご参照ください。規定、細則は本年5月の学会総会を経た後に公表されます。なお、産業看護専門職新制度移行でも必要となります産業看護継続教育の単位取得は第88回日本産業衛生学会（大阪開催）をもって全て終了となります。

2. 2015年度定例研修会について．

本年度も2回の定例研修会を予定しています。詳細につきましては、近畿地方会産業看護部会ホームページでご確認ください。多くの方のご参加お待ちしています。
（URL：　http://jsohkink.umin.jp/b-ohn.html　）

【第1回定例研修会】

日時：2015年7月18日（土）15：40～18：15

場所：エル・おおさか本館5F　視聴覚室

テーマ：「メンタルヘルス不調者に対する復職支援」～再発を繰り返す社員への対応の中で看護職の果たす役割とは～

講師：鍵本伸明先生（ナンバかぎもとメンタルクリニック院長）

【第2回定例研修会】

日時：2016年1月30日（土）13：30～16：30

場所：薬業年金会館

［第一部］講演

テーマ：「産業看護職とソーシャルキャピタル」

講師：長尾和宏先生（尼崎市　長尾クリニック院長）

［第二部］懇談会

ゲスト：五十嵐千代　日本産業衛生学会産業看護部会長

技術部会からのお知らせ

平成27年度の技術部会の研究会内容については現在公募しています。希望するテーマがあればお知らせください。

技術部会では労働衛生管理の方法として曝露を評価する技術が重要でるとの考えからこれらの研究会を開催したいと考えています。技術部会に参加して、これらの技術の向上に努めませんか。技術部会への入会に興味ある人は下記のメールに一報ください。

事務局　河合　俊夫
Tkawai@jisha.or.jp

会員の移動（敬省略）

芦澤　収	全国健康保険協会兵庫支部
岸本　ゆかり	㈱リコー
中山　正樹	新コスモス電機㈱
富永　敏行	京都府庁給与厚生課健康管理室
一杉　正仁	滋賀医科大学社会医学講座法医学部門
阪本　善邦	パナソニック健保組合健康開発センター
田林　理香	パナソニック健保組合健康開発センター
森脇　博	（独）労働者健康福祉機構関西労災病院
小林　康造	阪神医療生活協同組合第一診療所
小笠原　道一	参天製薬㈱
松井　康人	京都大学大学院工学研究科付属環境安全衛生センター
岩﨑　進一	大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学
吉場　暁子	三菱電機㈱京都製作所
岩佐　浩	（一財）京都工場保健会
土田　高宏	医療法人つちだクリニック
川端　一永	カワバタクリニック
井戸　晴香	京都大学医学部付属病院
白星　伸一	佛教大学
今井　哲也	全国健康保険協会兵庫支部
成瀬　学	全国健康保険協会兵庫支部
八木　正行	全国健康保険協会兵庫支部
尾花　昌志	全国健康保険協会兵庫支部
近澤　八重子	全国健康保険協会兵庫支部

第55回近畿産業衛生学会のお知らせ（第一報）

神戸親和女子大学大学院　丸山総一郎

平成27年度の近畿産業衛生学会を以下の通り実施致します。

日　時：2015年11月14日（土）
場　所：兵庫県医師会館（神戸市中央区磯上通6丁目1番11号）
テーマ：実効性のあるストレス対策と働きがいの向上をめざして
演題締切：2015年9月5日（土）
※優秀演題賞・若手奨励賞を表彰します。

午後の特別講演では「企業のリスクアセスメントとストレスマネジメント－精神障害の労災事例を中心に－」を、シンポジウムでは「変わる職場ストレスとメンタルヘルス教育のあり方－ストレスチェック制度の義務化を見据えて－」をテーマに計画を進めています。多くの方々のご参加を心よりお待ちしています。

懇親会：11月14日（土）1730より神戸東急インにて懇親会を開催致します。

学会事務局：〒651-0087　神戸市中央区御幸通6-1-20
三宮山田東急ビル8階
独立行政法人 労働者健康福祉機構
兵庫産業保健総合支援センター
第55回近畿産業衛生学会事務局
事務局長 長見まき子（関西福祉科学大学，兵庫産業保健総合支援センター）

編　集　後　記

今年度より、近畿地方会幹事となりました京都工場保健会の保健師の村田です。本近畿地方会ニュースの編集委員をさせて頂くことになりました。これまで主に中小企業の健康管理の支援等に携わってきました。看護職としての立場から中小企業の健康管理の支援に役立つようなニュースも入れていけたらと思っています。ご意見等ありましたら気軽におっしゃって下さい。どうぞよろしくお願いします。

（村田）

編集委員（50音順）
河合　俊夫　　木曽　真一
久保田昌詞（担当理事）　　鈴木　純子（担当理事）
中村　千賀　　藤岡　滋典（代表幹事）
宮下　和久　　村田　理絵（代表幹事）